

平成28年1月31日

従業員各位

株式会社 徳 ・株式会社 傳六
・有限会社 和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

1月も例年同様にどの店舗も大変忙しく、スタッフの皆様にはそれぞれの役割をしっかりと完遂いただきましたことお礼申し上げます。今月も小さなミスクレームはありましたが、大きな失敗もなくお客さまのアンケートからもたくさんのお喜びの声をいただいています。

私どもの商売は食ビジネスのなかで大きく分けてレストラン部門、お弁当や高級料理のケータリング部門の2つで成り立っています。共働き家庭や独身家庭の増加に伴い食事を外食する「外食率」やお弁当や総菜を買って食べる「中食率」が欧米と同様にどんどん増えてきています。一見すると私どものビジネスには追い風の環境かと思われそうですが可処分所得（実際にその家庭で使うことが出来る収入）は1990年から比べると660万円から530万円と約25%も低くなっています。特に大阪ではその傾向が強く、外食はするけど安くすませたいというお客が増えてきているということなのです。飲食店舗数も日本全国でこの10年間で15%くらい減っており、その減少した飲食店のほとんどは個人店と言われています。つまりお客様が買える価格でお客さまから支持され、愛される商品を提供し続けられる企業のみが生き残ることが出来るということです。私どもの会社で提供している商品は果たしてそういう（お客様が求める）商品なのか、具体的には「現状の販売価格でいいのか」「今あるメニューでいいのか」「サービスはこれでいいのか」「提供時間は長過ぎないのか」「立地はこれでいいのか」等を常に自己否定をしながら考えています。内に目を向ければ「スタッフがやりがいを持って働いているのか」「給料は水準以上か」「頑張っているスタッフに正しい評価をしているのか」「仕事の中でスタッフ自身の成長があるのか」ということも内省しています。競争もあり今までのやり方では立ち行かないことが多い飲食ビジネスですがお客様の立場を考えながら価格を含めて痺れるような商品を1年間提供していきたいと思っています。

■ノロウイルスが全国的に流行しています。手洗いの励行お願いいたします。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に**新たな価値**を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々